

平成24年5月24日

評価事業部 国際課

欧州ボローニャ・プロセス 第8回欧州高等教育大臣会合[ブカレスト会合] (2012年4月) 関係資料

ブカレスト・コミュニケ「欧州の可能性への期待と欧州高等教育圏の強化」(概要) (Making the Most of Our Potential: Consolidating the European Higher Education Area, Bucharest Communiqué)

政策主体：第8回欧州高等教育大臣会合（ブカレスト会合）

策定（実施）年：2012年

概略

2012年4月26日から27日にかけて、ルーマニアのブカレストで開催された、ボローニャ・プロセスに関する第8回大臣会合で合意された宣言。すべての学生に質の高い教育を提供することが、ボローニャ・プロセスの最大の目標である旨、再確認され、欧州高等教育圏（European Higher Education Area: EHEA）構築に向けたプロセスの最初の10年の進捗を評価しつつも、次の10年（～2020年）に向け、今後優先して取り組むべき課題（質の高い教育の提供、学生の就業力（employability）の向上、より質の高い学習のための流動性（モビリティ）の強化）が打ち出されている。

また、本会合では、EHEAにおける流動性（モビリティ）に関する戦略（Mobility Strategy 2020 for the European Higher Education Area (EHEA): Mobility for Better Learning）も打ち出され、2020年までに、欧州の学生の20%のモビリティを達成するという目標が掲げられ、これに向けて取り組むべき内容が示された。

<ブカレスト・コミュニケの主な内容>

◎重点課題

- ・ 学士・修士・博士の学位システムへの移行、欧州単位互換制度（ECTS）の導入、ディプロマ・サプリメントの発行、質保証制度の質向上、資格枠組みの導入、学習成果の定義付け及び評価等に関する各国の政策に、より統一性をもたせる取り組みが必要。
- ・ すべての学生に質の高い高等教育を提供し、学生の就業力を高める支援を行うこと。
- ・ 質の高い学習経験の機会への流動性（モビリティ）の強化の実現に向けて努力する。
- ・ 2012年から2015年の最優先事項は、ボローニャ・プロセスの課題の完全実現に向けて取り組む高等教育機関及び関係機関への援助。

○すべての学生に質の高い高等教育を

- ・ 高等教育へのアクセス拡大（widening access）に向けた各国の取り組みを歓迎するとともに、修了率（completion rates）の向上に関して努力する。
- ・ 社会的に不利な立場に置かれた層の高等教育参加に向けた取り組みを推進。社会における高等教育の意義の確立、不平等の是正、適切な学生支援・カウンセリング等の提供、学習進路や学習コースに柔軟性・多様性を持たせる努力を行う。

○学生中心の学習

- ・ 学生中心の学習 (student-centred learning) の重要性を再確認する。学生中心の学習とは、学生の学びを主体とした革新的な教育を意図するものであり、その実現に向けた取組みを続けていく。高等教育機関や学生と協働し、充実した支援体制を備えた魅力的な教育・学習環境を提供していく。

○質保証

- ・ 質保証 (quality assurance) は、相互信頼の構築と、EHEA が提供する教育 (国境を越えた共同教育を含む) の魅力を高めるのに不可欠の要素であることを再認識する。ボローニャ参加国は、教育の質保証に対する責務を今後も引き受けるとともに、質保証において、幅広く高等教育関係者を関与させることに努力する。また、欧州の大学・質保証関係機関4団体 (E4 Group: ENQA、ESU (欧州学生協会)、EUA (欧州大学協会)、EURASHE (欧州高等教育機関協会)) が、ENQA (欧州高等教育質保証協会) による「欧州高等教育圏における質保証の基準とガイドライン (ESG)」(2005年)の提言内容の導入状況に関する報告を提出したのを踏まえ、本ガイドラインの見直しを行い、明確性、適用可能性、有用性の面で改善を図る。

○機関のガバナンス

- ・ 高等教育への資金及びガバナンス (funding and governance) に関する開かれた対話の必要性を認識する。機関ガバナンスへの学生・教員の参加を推進するとともに、社会に対して責任を持ち、自主・自律を旨とする高等教育に対する取組みを深化させる。

○学生の就業力向上

- ・ 雇用者、学生、高等教育機関との間の連携の質の向上、特に、卒業生のイノベーション力、起業力、リサーチ能力を向上させるような学習プログラムの開発を通じて、学生の就業力 (employability) と卒後のキャリア開発能力の向上を助ける。

○学習成果

- ・ 学習成果 (learning outcomes) の実質的な導入が、EHEA の強化に不可欠である。学習成果の開発・理解・活用は、ボローニャ・プロセスを支える仕組み (ECTS 単位制度、ディプロマ・サプリメント、学位・資格の認証、資格枠組み、質保証) の成功と密接に結びついている。学習単位と学習成果・学習量との関連付け、成績評価プロセスにおける学習成果の視点の導入を高等教育機関に働きかけていく。

○資格枠組み

- ・ 各国で資格枠組み (qualifications frameworks) 開発にかかる取組みが進展していることを歓迎する。資格枠組みの構築により、学位・資格の中身が分かりやすく比較可能となり、より柔軟で開かれた高等教育システムの整備が可能となった。

○流動（モビリティ）

- ・ 流動性（モビリティ）の強化は、質の高い高等教育、学生の就業力の向上、EHEA と他地域との協働の促進に不可欠な要素である。2020 年までの流動性に関する戦略に即して、学生の流動を推進するプログラムに対する国の財政支援・ローン制度の利便性向上に向けた取組みを強化する。

○学位・資格、学習歴の認証

- ・ 学位や学習歴（インフォーマルな形態による学習経験を含む）の適切な認証（recognition）が、EHEA の中核にあることを再確認する。効率的な学位・学習歴の認証を阻む制度的な障害を取り除き、国際的に比較可能な学位・資格のシステムを構築することで、学位や学習歴を自動的に認証する仕組み作っていく。
- ・ Nuffic（オランダ高等教育国際協力機構）の「欧州地域の資格認証に関する手引き（European Area of Recognition Manual）」（2012 年公表）を歓迎し、これを国外で取得された学位・資格の認証にかかるガイドライン及び優良事例集として、各国の資格認証機関が活用すること、また、高等教育機関が、外国学位の認証にかかる機関内部の手続きを検証する際に、本手引きを参考とすることを推奨する。

○EHEA のグローバル化

- ・ 欧州高等教育圏のグローバル化推進という観点から、欧州の高等教育機関が、他地域の機関との共同教育プログラム（joint programmes and degrees）の開発を進めるよう働きかけていく。国レベルの制度に起因する障害を取り除き、国際的な連携や学生流動を推進することを目的に、共同教育プログラムに関する各国の規則や導入のされ方などの実態を調査していく。
- ・ 欧州と他地域との協力、EHEA の欧州以外の地域への開放（international openness）がこれからの EHEA 成功の鍵である。2005 年のロンドン会合で合意された「グローバル環境における欧州高等教育圏」戦略の重要性を再認識するとともに、EHEA のさらなる国際化に資するガイドラインの作成・提供を視野に、本戦略の進捗の評価を行う。

■第3回ボローニャ政策フォーラム（The Third Bologna Policy Forum）

ブカレスト大臣会合と合わせて、ボローニャ参加国と他地域の高等教育における国際連携とパートナーシップ構築のための場として 2009 年より毎年行われているボローニャ政策フォーラムの第3回会合「ボローニャ・プロセスを越えて：国・地域レベルからグローバル規模の高等教育圏構築に向けて」が開催され、宣言（Beyond the Bologna Process: Creating and connecting national, regional and global higher education areas）が採択された。

高等教育におけるグローバル規模の連携協力の必要性が再確認され、以下の内容について合意がなされた。

<第3回ボローニャ政策フォーラム宣言の主な内容>

- ・ 高等教育に対する社会の責任：持続可能な高等教育に向けて、社会は、高等教育機関への適

切な投資及び財政支援を行うこと。

- 社会的存在としての高等教育の責任：機関ミッションの実現に向けて、機関は質管理の枠組み及び政策環境を整えること。
- グローバル規模の流動性（モビリティ）：資格枠組みの不透明性や財政面での障害など、流動を阻むバリアを取り除くこと。
- 高等教育の質向上に向けたグローバル・地域レベルのアプローチ：質保証は、質を伴った国際的な教育の提供を促進し、透明性と相互信頼を深める強力なツールとなりうる。
- 学生の就業力向上に高等教育が果たす役割：高等教育の使命のひとつは、学生の就業力（employability）を身に付けさせることである。また、高等教育とグローバル環境にある産業界とのスムーズな接続には、取得学位や資格、生涯学習を含めた既習歴の適切な認定が鍵となる。就業力向上、資格や既習歴の認定の促進のいずれにとっても、学習成果にもとづくアプローチが重要である。

ブカレスト会合ウェブサイト（英語）<http://bologna-bucharest2012.ehea.info/>

以上